仕様

品番		PNW-R250
実容量		2.5リットル
保温効力	24時間	64度以上
	10時間	78度以上
本体サイズ（約）		幅20.8×奥行23.4×高さ44.5cm

※保温効力とは、室温20度±2度において、製品に熱湯を満たし、湯温が95度±1度のときから24時間および10時間放置した場合におけるその湯の温度です。

お問い合わせについて

品質管理には細心の注意をはらっておりますが、万一製品が不具合なときは、P.5をご覧になりお調べください。それでも不具合のある場合は、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口へ次のことをお知らせの上、ご相談ください。

①製品名
②品番
③製品の状況（できるだけ詳しく）

また、製品に関するご質問などもお気軽にお問い合わせください。

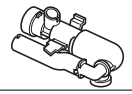
※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために一部予告なく変更することがあります。

樹脂部品について

熱や蒸気にふれる樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。
お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口にご相談ください。

消耗部品のお買い求めについて

水量管・バルブユニット・パイプ・パッキン・ブラシ（付属品）は消耗部品です。
6カ月～1年を目安にご確認ください。
汚れが目立ってきたり、ゆるくなってきたら、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口でお買い求めの上、交換してください。

品　名	部品番号
水量管	PNW1050
バルブセット* 	PNW1091
バルブユニット	PNW1090
パイプ	PNW1058
パッキンA	PNW1064
パッキンB	PNW1002
パッキンC	PNW1051
パッキンD	PNW1012
パッキンE	PNW1052
ブラシ	PNW1093

*バルブセットは、バルブユニット・パイプ・パッキンC・パッキンD・パッキンEのセットです。

連絡先

タイガー魔法瓶株式会社　本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル（全国共通番号）**0570-011101** 市内通話料金でご利用いただけます。
市内通話料OK

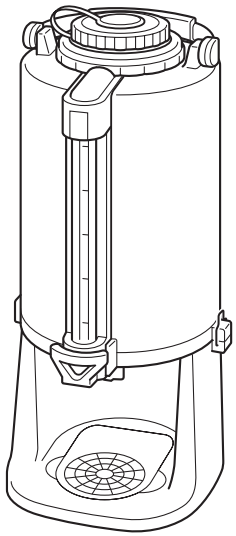
受付時間 AM9:00～PM5:00 月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除きます）
※携帯電話・PHSとIP電話等（ナビダイヤルを利用できない電話）の方はこちらへ TEL（06）6906-2121

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

ホームページアドレス　http://www.tiger.jp/

TIGER タイガー魔法瓶

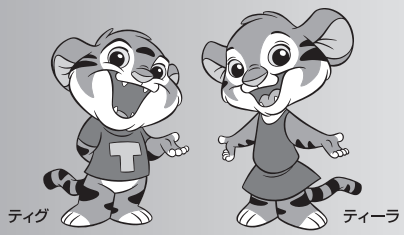
品番 **PNW-R** 型



ポット
（落下式タイプ）

取扱説明書

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



©2003 TIGER CORPORATION

中びんは
真空二重ガラス製まほうびん（両口びん）。

コーヒーマシーンにセットして、
ポットに直接コーヒーを
ドリップできます。 P.3

お湯や水などの
保温・保冷に大活躍！ P.3

細部のお手入れに便利な
ブラシ（付属品）つき。

もくじ

1 安全上のご注意……1
2 使いかた……3
3 不具合が生じたときは……5
4 お手入れのしかた……6
5 はずしかた・つけかた……7
仕様……裏表紙
お問い合わせについて……裏表紙
樹脂部品について……裏表紙
消耗部品のお買い求めについて……裏表紙
連絡先……裏表紙

1 安全上のご注意

本体に貼ってあるご注意に関するシールは、はがさないでください。

乳幼児の手の届くところには置かない。また、いたずらに注意する。
やけど・けがなどのおそれ。

倒したり、落としたり、ぶつけたり、強い振動（特に上下の振動）、衝撃を加えない。
やけど・破損・飲料物がこぼれるおそれ。

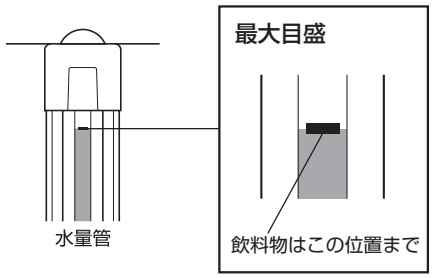
傾けたり、横置きにしない。
飲料物がこぼれて、やけどのおそれ。

コンロやストーブなど、火気の近くや、直射日光の当たる場所では使わない。
やけど・変形・変色の原因。

不安定な場所の上では使わない。
転倒して、やけど・けが・傷や変形のおそれ。

車などに載せての移動はしない。
やけど・破損・飲料物がこぼれるおそれ。

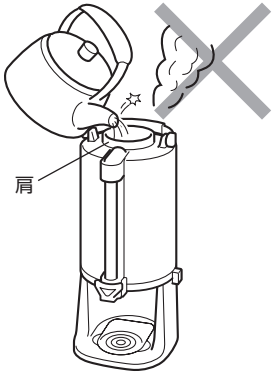
最大目盛を超えて、飲料物を入れない。
入れすぎると、中せんをしめるときにあふれて、やけどや飲料物がこぼれるおそれ。



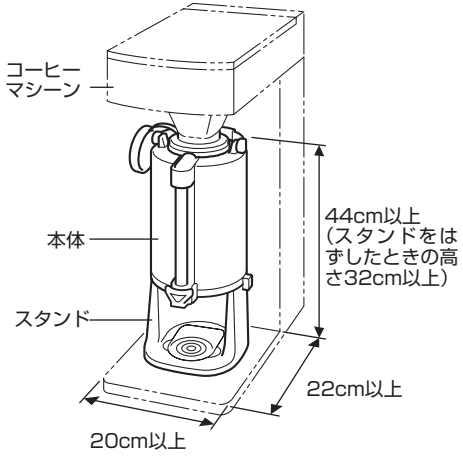
飲料物の保温・保冷以外に使わない。

注ぎ口に顔を近づけた状態で、レバーを押さない。
飲料物や水蒸気が勢いよく出て、やけどのおそれ。

肩部分に熱いヤカンをあてない。
転倒して、やけど・けが・傷や変形のおそれ。



コーヒーマシーンにセットして使うときは、ポットセット部のサイズを確認してから使う。



中せん（せんカバー）を確実にしめる。
傾いたり、転倒した場合、飲料物がこぼれて、やけどのおそれ。

ドライアイス・炭酸飲料などは入れない。
内圧があがり、中せんがあかなかったり、飲料物が吹き出たり、中せんが破損して飛び散り、やけどなどのおそれ。

牛乳・乳飲料・果汁などは入れない。
腐敗・変質のおそれ。

コーヒーを入れて使う場合は、ミルク・砂糖を入れない。
腐敗・変質や目づまりし、もれてやけどのおそれ。

みそ汁、スープなど塩分を含んだものは入れない。
腐敗・変質・サビのおそれ。

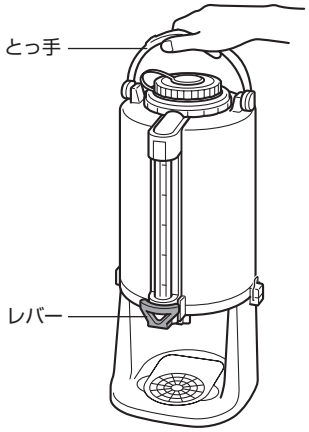
お茶の葉・麦茶・紅茶・果肉などは入れない。
目づまりし、もれてやけどのおそれ。

急熱・急冷はしない。
冷たいものを入れた直後に熱いものを入れたり、熱いものを入れた直後に冷たいものを入れると、中びん破損のおそれ。

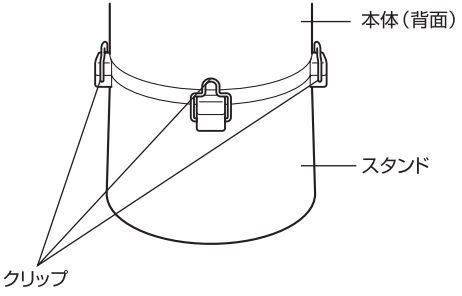
氷を入れるときは、飲料物を入れてから、本体を斜めにし、小さく砕いた氷をすべらせるように入れる。
中びん破損のおそれ。

氷を入れた場合は、本体を強くゆすらない。
中びん破損のおそれ。

本体を持ち運ぶときは、とっ手を持ち、レバーにはふれない。
やけどや飲料物がこぼれるおそれ。



スタンドをつけた状態で本体を持ち運ぶときは、スタンドのクリップ（3カ所）がすべてとまっていることを確認する。
けが・破損のおそれ。



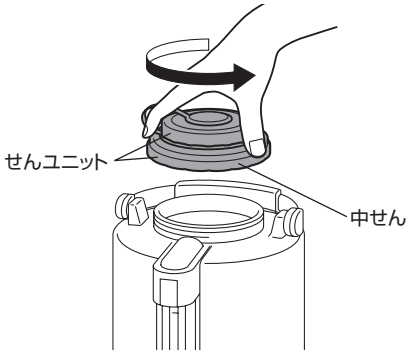
修理や分解*はしない。
故障や事故の原因。
*はずせる部品（→P.7・8）は除く。

2 使いかた

1 中せん（せんカバー）をはずす。

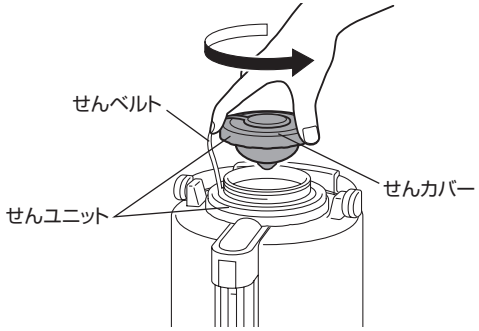
ヤカンなどで飲料物を入れる場合

せんユニット下部の中せんをまわしてはずす。



コーヒーマシーンでドリップする場合

せんユニット上部のせんカバーをまわしてはずす。

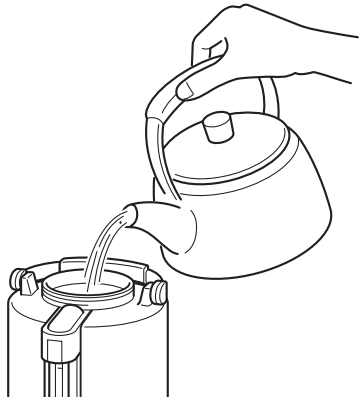


※はじめて使うときは、中びん・肩・せんユニット（中せんとせんカバーのセット）を洗う。（→P.6）

ご注意 はずしたせんカバーに強い力がかかったり、何かにひっかかるなどしないよう注意する。本体がひっぱられて転倒したり、せんベルト破損のおそれ。

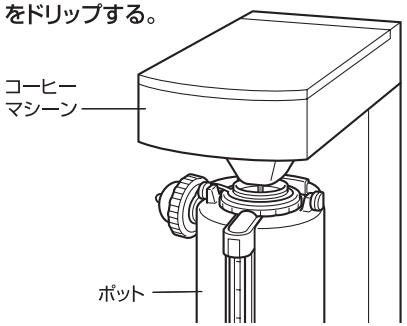
2 飲料物を入れる。

ヤカンなどで飲料物を入れる場合



コーヒーマシーンでドリップする場合

ポットをコーヒーマシーンにセットし、コーヒーをドリップする。

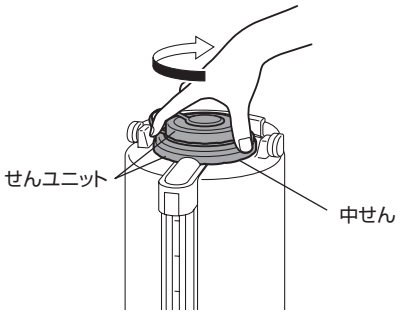


※コーヒーマシーンによっては、使用できない場合があります。（→P.1）

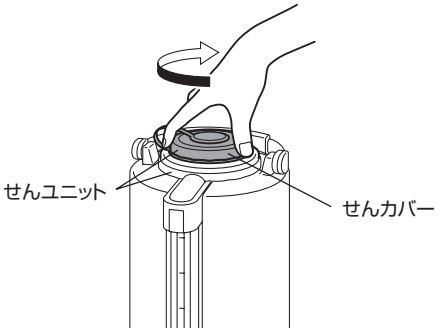
- 保温（保冷）効果を高めたいときは、少量の熱湯（冷水）を入れ、1～2分予熱（予冷）し、そのお湯（水）をすててから飲料物を入れることをおすすめします。
- 飲料物は、入れすぎないように最大目盛までにする。（→P.1）
- お茶の場合は、中びんにお湯を入れ、ティーバッグなどのご使用をおすすめします。熱いお茶を入れると、お茶の色が変わることがあります。

3 中せん（せんカバー）を確実にしめる。

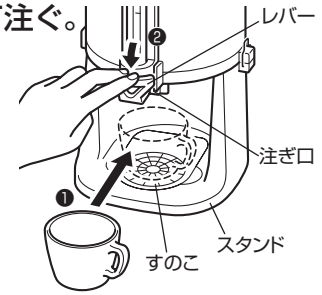
ヤカンなどで飲料物を入れた場合



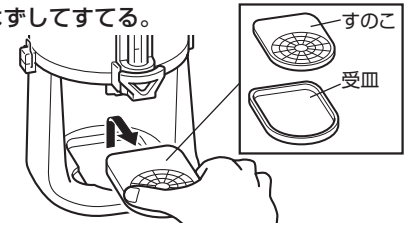
コーヒーマシーンでドリップした場合



4 カップなどをスタンドのすのこの上（下図の位置）に置き、レバーを押して注ぐ。



- 押している間、飲料物が出ます。
- レバーから指をはなし、注ぎ口から飲料物が止まるのを確認してからカップなどをはなす。
- 受皿やすのこに飲料物がこぼれたときは取りはずしてすてる。



ご注意 レバーを強く押しすぎない。破損の原因。

5 使用後、本体内に飲料物が残っているときは、スタンド（はずしかた→P.7）と中せん（せんカバー）をはずしてすてる。

ご注意 飲料物は必ず水量管を上にしてすてる。別の位置からすてると、水量管ラバーと本体の間に飲料物が入って汚れや破損の原因。また、やけどのおそれ。

3 不具合が生じたときは

修理を依頼される前に、ご確認ください。

こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた	参照ページ
飲料物が出ない、出にくい。	パイプ・パッキン・バルブユニットが確実にセットされていますか。	確実にセットする。	7・8
飲料物がもれる。	水量管・パイプ・パッキン・バルブユニットが確実にセットされていますか。	確実にセットする。	7・8
	水量管・パイプ・パッキン・バルブユニットが損傷していませんか。	損傷しているときは、お買い求めの上、交換してください。	裏表紙
	最大目盛を超えて飲料物を入れていませんか。	最大目盛以下にする。	1
	食器洗浄機や食器乾燥器、熱湯などを使っていませんか。		6
	レバーがさがったままになっていませんか。	お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	落としたり、はげしい振動を加えていませんか。		1
保温（保冷）が効いていない。	中せん・せんカバー・パッキンAが確実にセットされていますか。	確実にセットする。	4・7
	熱い（冷たい）飲料物を入れていますか。	熱い（冷たい）飲料物を入れる。	—
	飲料物の量が少なくありませんか。飲料物の量が少ないと、充分な保温（保冷）効果が得られない場合があります。		—
	寒冷地や周囲の温度が高い場合など、使用環境の厳しい状況では、充分な保温（保冷）効果が得られない場合があります。		—
中びんやせんユニットから異臭がする。	汚れが付着していたり、飲料物を長時間入れたままにしていませんか。	お手入れする。	6
樹脂部分に、線状や波状のように見える箇所がある。	樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。		—

■キラキラ光るものが中びんに付着したとき

中びんにお湯を入れておくと、キラキラ光るものを見つけることがあります。これは『フレークス』と呼ばれ、お湯の中に溶け込んでいるミネラル成分が化合して、ガラスびんの内壁に薄い膜を作り、これがはがれて浮遊したものです。フレークス自体は健康上有害なものではありませんが、もし発生した場合は、中びんに食酢を約10%加えた湯を入れておき、30分～1時間後、やわらかいブラシなどで、中びんをよく洗ってからお使いください。

※中びんは、フレークスが発生しない場合でもときどき同じ方法でお手入れをしていただくと効果的です。

4 お手入れのしかた

◆本体外側・スタンド・パネルキャップ・水量管カバー・バルブカバーの丸洗いはしない。水の浸入・故障・破損・他のものを汚すおそれ。

◆洗剤でお手入れするときは、台所用合成洗剤（食器用・調理器具用）を使う。

◆スポンジ・布はやわらかいものを使う。

各　部	お手入れのしかた
せんユニット 中びん すのこ 受皿	① 洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジを使って洗い、水で充分にすすぐ。 ② 充分に乾燥させる。
水量管 パイプ* パッキンA パッキンB パッキンC* パッキンD* パッキンE*	① 洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジやブラシ（付属品）を使って洗い、水で充分にすすぐ。 ② 充分に乾燥させる。
本体外側 スタンド パネルキャップ 水量管カバー バルブカバー	① 洗剤をうすめたお湯に布をひたし、かたくしぼってふく。（丸洗いはしない。） ② 乾いた布で洗剤分をふき取り、乾燥させる。
バルブユニット*	① 水またはぬるま湯にひたし、内部まで充分に洗う。 ② 水を替えて、きれいになるまで①をくり返す。 ③ 充分に乾燥させる。

水量管・パイプ・パッキン・スタンド・パネルキャップ・水量管カバー・バルブカバー・バルブユニットは、はずしてお手入れできます。（→P.7・8）

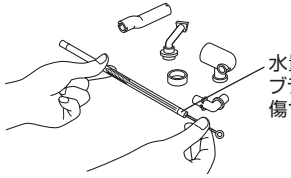
表中の*印は、汚れてきたらはずしてお手入れしてください。

ご注意

- ●シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
- ●食器洗浄機や食器乾燥器、熱湯などは使わない。
- ●中びん・水量管・せんユニット・パッキンA・パッキンBは、こまめにお手入れする。長期間お手入れしないと、汚れがこびりついて落ちにくくなる原因。
- ●お手入れのときにはずした部分は、必ずつけ直してから使う（→P.7・8）。やけど・破損・飲料物がこぼれるおそれ。

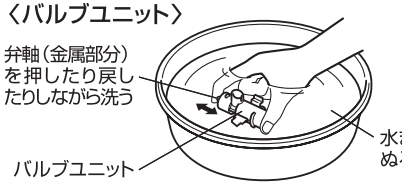
水量管・パイプ・パッキン・バルブユニットの細部のお手入れ

〈水量管・パイプ・パッキン〉



水量管はガラス製なのでブラシ（付属品）を入れて傷つけないように洗う

〈バルブユニット〉



長期間ご使用にならないとき

①上記の要領で各部をお手入れする。

②風通しの良い所で、本体・各部を乾燥させる。（特に中びん・水量管・パイプ・パッキン・バルブユニットは充分に）

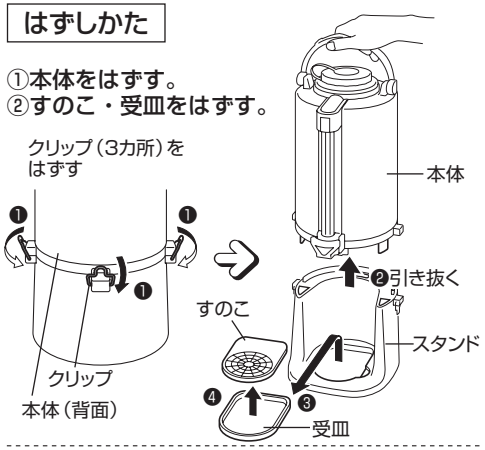
③ポリ袋などで密封し、湿気の少ないところで保管する。

5 はずしかた・つけかた

※はずした部分は、必ずつけ直してから使う。
※使用前に本体に水を入れ、レバーを押して正しく注げるか、もれてくることがないかを確認してから改めて使う。
※バルブ部は、汚れが目立つようになってきたら、はずしてお手入れする。

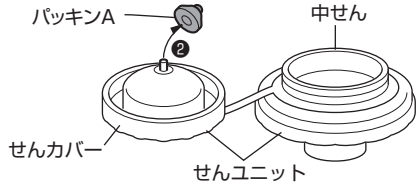
はずしかた

①本体をはずす。
②すのこ・受皿をはずす。

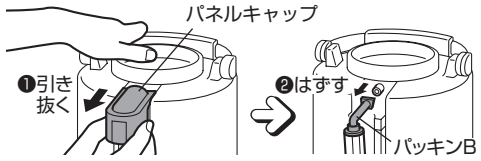


③せんユニット・パッキンAをはずす。

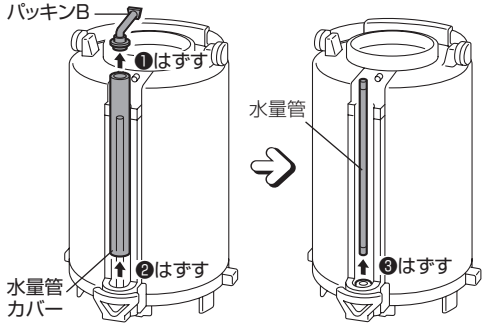
❶せんユニットを本体からはずす。（→P.3）
❷せんカバーからパッキンAをはずす。



④本体からパネルキャップ・パッキンBをはずす。

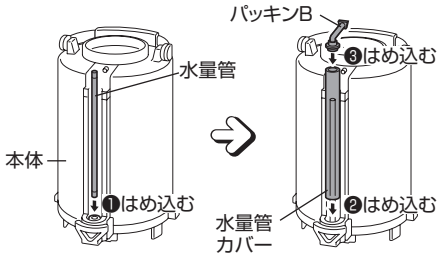


⑤パッキンB・水量管カバー・水量管をはずす。

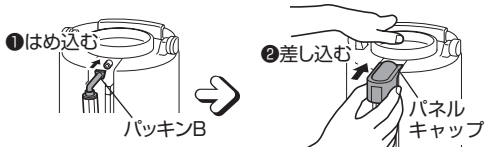


つけかた

①水量管・水量管カバー・パッキンBをつける。

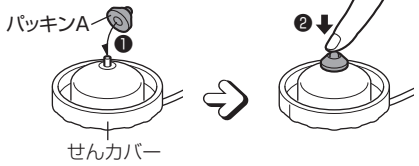


②本体にパッキンB・パネルキャップをつける。



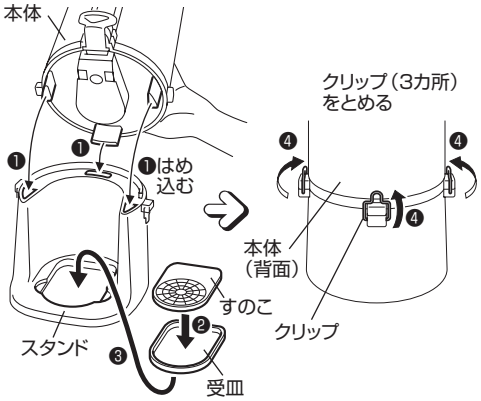
③パッキンA・せんユニットをつける。

❶せんカバーにパッキンAをはめ込む。
❷パッキンAを奥まで押し込む。



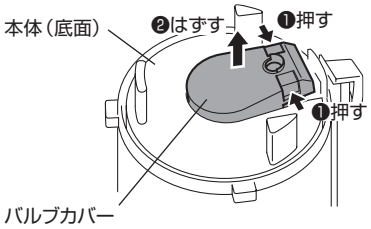
❸せんユニットを本体につける。（→P.4）

④本体をつける。
⑤すのこ・受皿をつける。

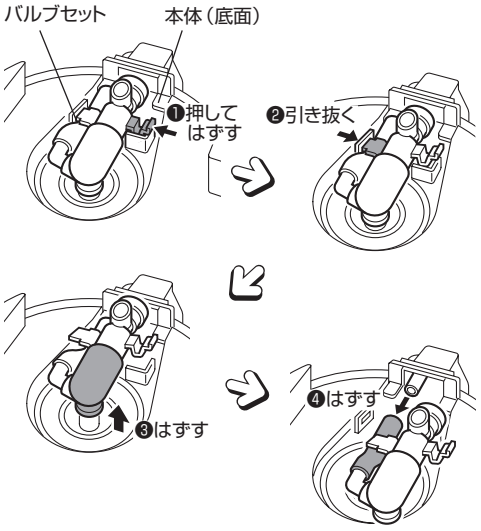


バルブ部のはずしかた

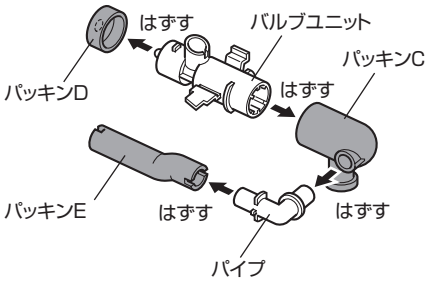
①バルブカバーをはずす。



②バルブセットをはずす。

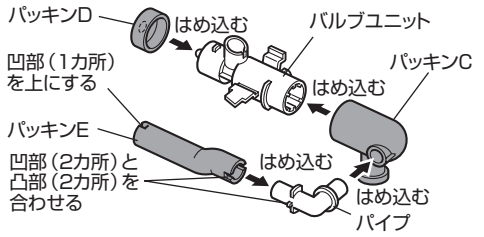


③バルブユニットからパッキン・パイプをはずす。

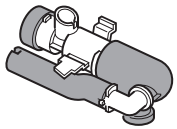


バルブ部のつけかた

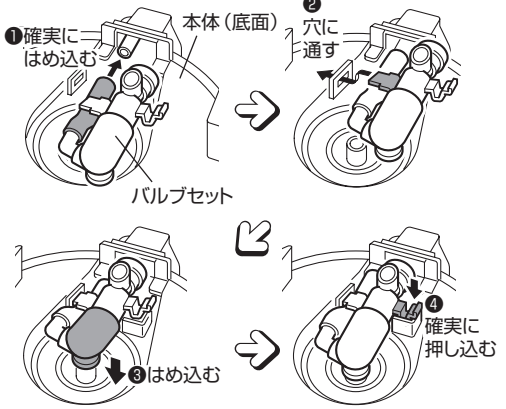
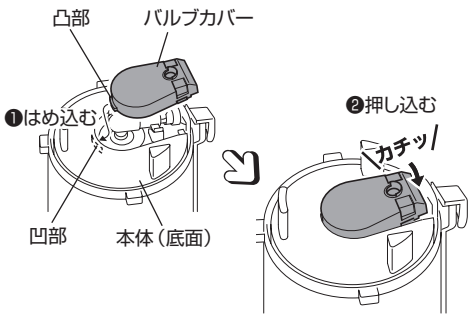
①バルブユニットにパッキン・パイプをつける。



■取りつけ状態



②バルブセットをつける。



③バルブカバーをつける。